

経済小説の主人公に

者・高杉良さんがITベンチャーに焦点を当てた初の作品。北野さんは「背筋が伸びる思い。社業を通じて社会に一層貢献したい」と決意を新たにす。

(内田光祐)

備前市出身でITベンチャー・イーパーセル(東京)社長の北野譲治さん(56)を主人公にした小説「雨にも負けず」(角川書店)が刊行された。大企業の経営者を数多く描いてきた経済小説の第一人

備前出身ITベンチャー社長北野さん



宮沢賢治の言葉が記された社内の額の前で本を手にする北野さん(東京)

小説化の提案を「元 従来、高杉作品の題材は談でしよう」と半ば疑 金融や石油化学、自動車 帯を率いる自分が主役 ったという北野さん。 といった大企業を中心だ になるとは想像もしな かったという。

早稲田大を卒業後、 大手損害保険会社で契 約社員として5年間勤 務し、保険代理店を開 業。37歳の時、米ボス トンで発祥したイーパ ーセルの創業者に熱心 に口説かれ、日本法人 設立に加わった。小説 化のきっかけは、同社 が原告となった米国で の法廷闘争だった。

電子データ配信サー ビスを手掛けるイーパ ーセルは、自社特許が 侵害されたとして20 11年にグーグル、ヤ フーなど米IT大手13 社を訴え、和解を勝ち 取ったことで知られ る。17年4月、その経

高杉良さん執筆「雨にも負けず」 軽妙な筆致で奮闘描く

緯に触れた新聞記事を読んだという高杉さんから取材の申し込みがあった。

小説(四六判、256 頁、17288円)は今年3 月に刊行された。歩合制 の月給が300万円に達 したという契約社員1年 目の奮闘ぶり、共に歩み ながらも後に生じた創業 者との確執、窮地に陥つ た経営を引き継ぎ、立て 直したエピソード。事 実をベースに会話などの 一部に脚色を加えた軽妙 な筆致で仕上げられた。

タイトルは社内の額に 飾り、大切にしているとい う宮沢賢治が残した言葉から引用された。北野 さんをはじめ支えとなっ た朝日高の級友からも多く が実名で登場し、本を読 んだ知人からは激励が寄 せられているという。高 杉先生に取り上げられて くださったと思われる経 営者を目指し、精進して いきたい」と話す。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。